

## 「家庭」と「学校」それぞれの学びをつながりを見直し、ICTで体現させた学習形態の実践と検証

県立津山中学校

### 1 はじめに

新型コロナウイルスの影響による長期間の休校をきっかけに、「家庭」や「学校」での学びについて改めて考えました。また、GIGAスクール構想の実現に向け、ICTの効果的な活用が求められています。以上の流れを受け、「家庭」と「学校」それぞれの学びとつながりを考えながら、ICTを活用した新たな学習形態をデザインし、実践しました。

### 2 取組の概要

ICTを活用した学習形態に関する取組の一つとして、理科の授業で「反転授業」を実践してきました。

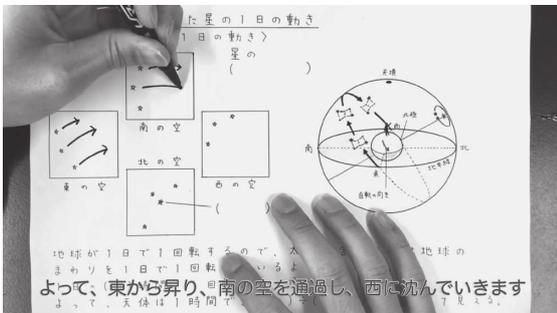
#### (1) 反転授業とは

「反転授業」とは、2000年代にアメリカで研究が始まった学習形態です。生徒は動画を

見て知識・技能に関する学習を家庭で行い、学校の授業では演習やグループ学習などを中心に行い、知識・技能の習得（定着）や思考力・判断力・表現力の育成を目指した教育方法です。

#### (2) 本校の反転授業

本校の理科の授業では、家庭でのオンライン学習（予習）に必要な動画は授業者が自作した



予習動画の様子



ChromebookとWebカメラを使って天体の動きについて疑似体験している様子

ものを使用しました。学校の授業では、主に個人での演習やグループ学習、発展的・探究的な観察・実験などを中心に行っています。

今までの学習形態では、「あんな実験がしたいな、こんな活動ができたらいいな」と思っているけど、時間の制約上、実現できないことがあります。しかし、反転授業をするようになり、今までできなかった発展的・探究的な観察・実験などをするための時間を確保することができています。

### 3 取組の成果

生徒を対象に行ったアンケート

トでは、「家で動画を見て、学校では演習・実験などが十分にできるのでとてもいい。動画はわからない部分があったら何度も見ることができるところがありがたい」、「分からない問題があるときに家だと分からずじまいになるけれど、学校なら友達や先生にすぐ聞けるのがいい」など、「家庭」と「学校」それぞれの効果的な学習に関する記述内容が見られました。

また、理科の授業で反転授業を実践することで、教科の枠を越えた教職員の間で、家庭学習や授業改善などについて議論する機会が増えました。子どもたちに学ぶことの面白さや分かる喜びを実感させる授業づくりに向けて、有意義な時間となっています。

### 4 おわりに

子どもたちの資質・能力の育成に向け、今後も教職員の間で様々なアイデアを出し合い、議論し、より良い学びを追究していきたいと思えます。

(教諭 松本 郁弥)